

「第4次男女共同参画計画」事業実施状況一覧（令和5年度）

★基本目標2

- ★基本目標2 市民が協働し、あらゆる場に参加できるまち
- － 施策の方向(1) 政策・方針決定過程への男女共同参画の推進
- － 今後の取組 ① 市の審議会等への女性の参画の推進 (P43)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
12	審議会等の女性の登用の促進	市で設置している審議会等について、役職指定を見直すなど、女性委員の積極的登用について促進します。	○新たに対象となる組織の確認のため、登用状況の周知も兼ねて、全課に調査を依頼した。	女性枠や公募枠の設定の提案等、女性委員比率向上のための働きかけを行っていきたい。	積極的登用が進まない背景を考え、引き続きの取組を願いたい。	市民協働課

－ 今後の取組 ② 市職員への男女共同参画の推進 (P44)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
13	新規採用市職員研修の実施	新規採用市職員について男女共同参画に関する基本的な知識と理解を深めるための研修を行います。	○令和5年度新規採用者後期研修において、男女共同参画に関する研修を実施した。(令和5年10月6日実施。受講者17人)	なし	課題等について、「なし」とせず、課題に限らず成果についての記載をお願いしたい。また、前期研修での実施をお願いしたい。	職員課(総務課)
14	市職員研修の実施	市職員について男女共同参画に関する基本的な知識と理解を深めるための研修を行います	在職者に対する研修として、新規採用職員研修の中の一コマとして行った。	対象者、研修内容を精査し、効果的な研修について検討を進めていきたい。	引き続きの実施をお願いしたい。	市民協働課
15	女性管理職登用の推進	市女性職員の人材育成に努め、女性管理職の登用を推進します。	R5.4.1現在 管理職79人 (うち女性 16人) ○2人の女性職員を管理職に登用した。 ○女性職員の活躍を推進するため、女性職員を対象とした研修を実施した。 令和5年度沼田市・渋川市合同職員研修「女性キャリアデザイン研修」(令和5年7月18日～19日実施。受講者12人)	○係長への登用を進めることにより、管理職登用の促進の素地を築くことが必要。 ○階層別研修を管理職まで拡大しキャリアアップに努める。	女性が管理職として力を発揮する環境づくりの研修を男女限らず実施し、登用の推進をお願いしたい。	職員課(総務課)
16	職員に対する育児休業・介護休暇制度の周知	職員に対して育児休業・介護休暇制度を周知し、取得しやすい職場環境の醸成に努め、特に、男性職員の育児休業取得を推進します。	育児休業 新規取得対象者 女性 6人 男性 2人 取得者 女性 6人 男性 3人 (R4年度中に子が出生し新規取得した男性2人含む) 取得率 女性100% 男性150% 介護休暇 取得者 0人	○女性職員については、対象者全員が育児休業を取得した。男性職員については、取得者が半数を超え、目標を達成することができた。 引き続き職員への制度周知を図るほか、育児休暇の取りやすい職場の醸成に努める。	育児休業・介護休暇を取得しやすい職場環境づくりを、引き続きお願いしたい。	職員課(総務課)

- － 施策の方向(2) 働く場における男女共同参画と仕事と生活の調和の推進【女性の活躍推進計画】
- － 今後の取組 ① 働く場における男女共同参画の推進 (P45)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
17	市民及び市内事業所への法制度等の周知及び情報提供等	性別による固定的な就労意識や差別等が起こらないよう、「男女雇用機会均等法」などの制度の周知を図るとともに、労働環境の整備などについての情報提供を行います。	市ホームページに労働環境についてのお知らせを掲載、併せて窓口等でパンフレットを配布した。	窓口でのパンフレット配布は、どの程度周知ができているか不明である。 ホームページを利用し、情報提供しているが、より効果的なPRのため、他の媒体の活用が課題である。	内容の分かり易い情報提供に努めていただきたい。	産業振興課
18	ワーク・ライフ・バランスの促進	固定的な役割分担意識を見直し、男女共同参画社会を実現するため、ワーク・ライフ・バランスの促進に取り組みます。	ワーク・ライフ・バランスの考え方を市ホームページに掲載し周知した。併せて、いきいきGカンパニーゴールド認証市内企業名及びくるみん・プラチナくるみん認定市内企業名を市ホームページに掲載し周知した。	・ワーク・ライフ・バランスの促進について、その意識啓発に引き続き取り組んでいきたい。 ・各種認定制度について、詳しい取組等の紹介も検討していきたい。	ワークライフバランスがなぜ必要なのかを含め、引続き推進をお願いしたい。	市民協働課

－ 今後の取組 ② 働く場における女性の活躍の推進 (P46)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
19	女性が働きやすい職場環境の推進	家庭生活と両立が可能となる職場環境の推進や、短時間勤務など多様な働き方について普及を図ります。 また、事業主への「女性活躍推進法」の周知を行い、事業種行動計画の策定を促進します。	昨年度から引き続き、いきいきGカンパニーゴールド認証市内企業名の紹介とともに市ホームページに掲載し周知した。	詳しい取組の紹介や企業への働きかけに至らなかったの で、引き続き検討したい。	具体的な取組みを周知する形で進めて欲しい。	市民協働課
			①沼田市ママ・パパの子育てを応援する企業奨励金の交付実績は13件で、新規若しくは久しく交付申請のなかった企業から申請があり市内企業の理解が進んだ。また、市内合計約145事業者に実施したアンケートを元に、育児休業の分散取得への対応と併せて制度改正を実施した。	①アンケート結果から育児休業を規定した就業規則を持つ事業者は少なく、従業員の少なさから、育休の必要性を感じている事業主も少なかった。、働き手の確保のためにも制度整備が必要であることをどう啓発していくかが課題である。	それぞれの課が連携して具体的取組を企業に提案して欲しい。	産業振興課
20	女性のための就業支援と就業情報の提供	家庭の事由により退職した女性の再就職などを支援するとともに、就業情報の提供を行います。	・就業援助相談（内職相談）については、36件の相談があり、内職の斡旋などを行った。 ・再就職を希望する女性等を対象とした就職面接会は、事業者11社、求職者27名の参加があり、内19名の求職者から「役に立った」という感想を得た。 ・女性の再就職応援事業の、県主催の連続講座には、市外から2名の参加があった。	・内職を希望する相談は多いものの、希望する業種がないことや斡旋できる事業所が少ないことが現状である。 ・面接会等は年度内で複数回の実施を望む声もあるが実現しなかった。他事業との調整をしながら可能な範囲で拡大したい。	ニーズがあるので、複数回実施の実現をお願いしたい。	産業振興課
21	起業に対する支援	起業を目指す人に対し、ノウハウの取得や資金調達の情報提供などの支援を行います。	○ぬまた起業塾開催(第9期) R5.7.8-R6.1.27(13回) 入塾者25人(うち女性13人) ○創業者融資制度実施 新規申込み6人	卒塾生のサポート強化について、ホームページを活用した起業内容の周知や卒塾生同士のネットワーク構築等、更なる充実を図りたい。	沼田の活性化に役立っている ので、多様な人たちが参加出来るように継続願う。	産業振興課

－ 今後の取組 ③ 仕事と家事・育児・介護等の両立支援の充実 (P47)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
22	ファミリー・サポート・センター事業	「子育ての援助を必要とする人」と「子育ての援助ができる人」を会員とするファミリー・サポート・センターを設置し、会員間の相互援助活動により地域の子育て支援を進めます。	ファミリー・サポート・センター設置数 1か所 ・事業委託により実施 委託先：NPO法人 尾瀬なでしこの会 OR5年度末会員数 497人 〈内訳〉 依頼会員420人 提供会員 46人 両方会員 31人 ○援助活動回数 143回 ○会員講習会等の開催 ・講習会 9回 ・講習会 6回	会員数は計画を下回った。自宅で預かるという事業の性質上、令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用が減ったことにより、会員数が減少し、5類移行後も増えない状況である。援助者の人材確保に努めるとともに、子育て世帯へ様々な方法で周知していく必要がある。	持続可能なセンターとなるように、様々な課題等を調査し継続をお願いしたい。	子ども課
23	保育サービスの充実	多様な保育ニーズに応えるため、延長保育、一時預かり保育、障害児保育、病児保育などの保育サービスの充実を図るとともに、保護者の所得に応じた保育料を設定し、負担の軽減に努めます。	○一時預かり保育事業を6園で実施できた。 沼田めぐみこども園、ぬまた南、川田、ちぐさこども園、沼田幼稚園、恵泉幼稚園 ○延長保育事業を7園で実施できた。ぬまた南、横塚、熊の子、桜ヶ丘、ちぐさこども、沼田めぐみこども園、沼田幼稚園 ○体調不良時型保育事業を2園で実施できた。沼田めぐみこども園、ちぐさ子ども園 ○病児保育委託事業を1園で実施できた。 病児保育室くるみ	少子化に伴い園児数は減少しているが、保護者の就業形態等に伴う多様な保育ニーズに対応するため、継続して環境整備や職員の処遇改善を図っていくことが必要である。	積極的な負担軽減に努め、継続をお願いしたい。	子ども課

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
24	放課後児童健全育成事業	就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生が放課後や週末等に安心して生活できる居場所として学童クラブを設置し、児童の健全な育成支援を図ります。	放課後児童クラブ（学童クラブ）設置数 16か所 ・事業委託により実施 ○利用児童数 576人（R5. 5. 1現在）	共働き世帯の増加と核家族化により、放課後児童クラブの利用を希望する児童が増加している。なかでも、発達障害をもつ児童の利用が増えているため、専門知識や対応方法が習得できるような研修を毎年開催している。複雑化する保護者を取り巻く環境や価値観に対応するため、支援員や補助員の資質や専門知識の向上を図れるような研修会を定期的に開催する必要がある。	保護者が安心して働けるように支援員の資質向上と補充に積極的に努めてもらい、継続をお願いしたい。	子ども課
25	母子家庭等福祉推進事業	母子家庭及び父子家庭等の福祉の充実を目的と自立に向けた資格取得のための給付金や自立支援員による相談などの支援を行います。	○資格取得等支援の実施 ・給付金支給 10人 <内訳> ・高等職業訓練促進給付金（養成機関修学等）10人 ・看護師4人、准看護師5人その他1人 ○自立支援員による相談等の実施 ○広報・HPによる制度周知	資格取得を目指すひとり親への支援が実施できた。ひとり親手当受給者のほか、離婚届時等の機会に、新たにひとり親になる人にも手当等とあわせて制度周知を行っているので、継続して、母子・父子自立支援員による積極的な周知に努めたい。	様々な現状やニーズに合わせた支援を引き続きお願いしたい。	子ども課
26	子育て支援の情報提供	広報、ホームページによる周知や子育てガイドブックなどの配布、子育てコンシェルジュによる情報提供のほか、子育て世代が利用しやすい情報提供の充実に努めます。	○子育てコンシェルジュ1名配置（子ども課窓口） ○窓口における子育て情報の提供・相談及び関係機関へのコーディネートの実施 ○子育てガイドブックの作成（電子書籍版のホームページ掲載） ○子ども広場等子育て支援拠点において子育て情報の提供や相談支援の実施 ○母子保健担当と月1回情報交換会を実施 ○子育て団体との情報交換会への参加 ○子ども家庭総合支援拠点の相談員と一緒に家庭訪問の実施	計画どおり1名の子育てコンシェルジュを配置し、窓口のほか子ども広場等の子育て支援拠点に出向き、子育て情報の提供、相談等を行った。母子保健担当と月1回情報交換会を実施する中で、支援の必要な世帯を早期に発見し、必要な支援につなげられるように妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない総合的な支援の強化をしていく必要がある	子育て世代に分かり易い情報提供に心がけて欲しい。	子ども課
27	男性の育児参加の促進	マタニティセミナーへの両親参加、父子手帳の活用、啓発パンフレットの配布、子育てイベントや子ども広場などを活用し、男性の育児参加について啓発を行います。	○赤ちゃんとのふれあい体験講座は、中学校3校と学童クラブ1か所で実施した。 ○未来のライフデザイン啓発動画の制作 市公式YouTubeに掲載	赤ちゃんとのふれあい体験講座は、多様な人生選択の時代であることも考慮し講座の内容を検討したい。また、啓発動画の作成は、沼田市で結婚し、子育てをする身近な家庭を取り上げるとともに、多様化する価値観に対応した内容にすることが必要である。	体験講座の意義や実施内容が分かるよう啓発したらどうか。	子ども課
			マタニティセミナー 年6回 1コース2日間 （2日目にパートナーの参加あり） 延参加者152人 （内パートナー53人） 妊婦 実51人 パートナー 実45人 パートナー出席率88.2%	昨年同様、2日目以外にもパートナーと一緒に参加し赤ちゃんを迎える準備が夫婦で出来ている様子が伺えた。パートナーの出席率が昨年より減少したため、パートナーの参加を1日目等で促していきたい。	引き続き実施願いたい。	健康課
28	要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行います。	【要・準要保護認定者】 ・小学校 124人（うち入学前12人） ・中学校 56人 【支給費目】 ・学用品費・通学用品費 ・新入学用品費 ・校外活動費 ・修学旅行費 ・給食費 ・卒業アルバム代 ・オンライン学習通信費 *就学困難と認められる児童生徒に援助を行った。	認定基準を定め、認定会議等を経て認定しているが、申請により審査を行うものであるため、保護者等が制度を把握できるよう、制度の周知及び学校関係者や民生委員等からの働きかけも重要となる。学校関係者や民生委員等と連絡を取りながら、就学困難と認められる児童生徒の把握に努め、事業を進めていく必要がある。	学校や民生委員との連絡を密にしきめ細かく対応し、対象者へ必要な援助が届くようにお願いしたい。	学校教育課

－ 施策の方向(3) 地域における男女共同参画の推進
 － 今後の取組 ① 地域活動における男女共同参画の推進 (P48)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
29	ボランティアの育成と活動支援	市民と行政が、互いの特性や能力を活かしながら目的を共有し、地域課題などの解決に向け、男女が連携、協力して取組を進めます。	○出前講座 全59講座開催、2,407名受講 ○まちづくり事業補助金 7団体、830,000円補助 ○地域づくり講演会 7回開催 ○団体活動発表 ・みんなのパネル展開催 ○ちょこっと体験教室 2回実施 ○機器利用等 ・コピー機及び印刷機の利用 ・会議室等の利用提供	出前講座の受講者数は増加しているが、市民活動センター登録団体数は減少したので、団体の育成や支援に繋がる事業を検討したい。	コミュニティテラス等が使いやすくなるように、団体の声を聞き取り、団体活動の推進を引き続き願いたい。	市民協働課
30	放課後子ども教室推進事業	地域・家庭・学校が連携し、すべての子どもが放課後や週末等を安全・安心に過ごすため、地域の方々の協力を得ながら、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動を行います。	1 とね放課後ひろば ○期日 4月12日～3月21日 ○回数121回 ○登録児童数30人 2 うすねわくわくスクール ○期日 5月27日、6月5日、6月10日、7月3日、7月15日、9月4日、9月30日、10月2日、10月14日、11月6日、3月2日 ○回数 11回 ○登録児童数 11人	○ボランティアの確保	取組の意図が分かるような周知をし、ボランティアの確保に努め継続して推進願いたい。	生涯学習課
31	中学生ボランティアリーダー養成講座	中学生の積極的な社会参加活動の推進を図るため、市内中学生から参加者を募集し、各種ボランティア活動プログラムを実施します。	(令和2年度をもって事業終了)	(令和2年度をもって事業終了)	(令和2年度をもって事業終了)	生涯学習課
32	初級指導者養成講座	市内の子ども会指導者等を対象に、青少年地域指導者の資質向上を図ることを目的として、性別にかかわらず、各種講座・実技研修等のプログラムを実施します。	5月20日に市青育連役員等研修会を実施した。午前は座学、午後は救命講習を行った。座学では生涯学習課長、沼田市青少年育成連絡協議会参与、群馬県子ども会育成連合会会長が講義を行った。救命講習は利根沼田広域消防に依頼した。 6月13日と7月4日にジュニアリーダー部研修会(座学)を行った。	ジュニアリーダー部は女子部員しかいないが、各事業に積極してくれたおかげで、卒業前に3年生全員(7名)初級指導者資格を取ることができた	要因を具体的に検討して、内容が解るような周知を願う。	生涯学習課
33	沼田市青少年育成相談センター補導員会	補導員としての任務遂行に万全を期し、青少年の健全育成に資するため、補導員相互の連絡協調と研修を実施します。	1 街頭補導 ○昼間38回、夜間34回 合計72回実施 2 各種会議等 8回 3 補導員数 76人 (男47人、女29人)	補導員男女比はほぼ目標達成されているが、昼間の補導は全員女性補導員であり、夜間はほぼ男性補導員のためバランスが課題である。	効率的な運営を検討していただきたい。	生涯学習課
34	地域学校協働本部事業	幅広い層の地域住民・団体等が参画するネットワークにより、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とする地域づくりを目指すため、地域・家庭・学校が連携・協働する体制づくりを推進します。	1 沼田東小学校 ○期日:4月中旬～3月19日 ○参加者数:延べ2147人 ○ボランティア等人数 22人(男7人、女15人) 2 沼田中学校 ○期日:4月7日～3月28日 ○参加者数:延べ356人 ○ボランティア等人数 121人(男21人、女100人) 3 薄根小学校 ○期日:5月25日～2月7日 ○参加者数:延べ1575人 ○ボランティア等人数 26人(男16人、女10人) 4 沼田小学校 ○期日:4月中旬～2月2日 ○参加者数:延べ5280人 ○ボランティア等人数 25人(男1人、女24人) 5 池田小中学校 ○期日:4月25日～3月12日 ○参加者数:延べ1099人 ○ボランティア等人数 30人(男15人、女15人) 6 川田小学校 ○期日:4月19日～2月14日 ○参加者数:延べ1422人 ○ボランティア等人数 9人(男5人、女4人) 7 白沢小中学校 ○期日:4月26日～1月31日 ○参加者数:延べ344人	○ボランティアの確保 ○推進員への情報提供・研修の充実	地域ごとに格差が見られるが、地域の特色を活かして推進を継続して欲しい。	生涯学習課

－ 今後の取組 ② 農業・商工自営業等の男女共同参画の推進 (P49)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
35	家族経営協定の推進	家族が、相互に責任のある経営への参画を通じて、魅力的な農業経営を確立するとともに、それぞれの立場を尊重しあい、健康で民主的な明るい家庭を建設するために、「家族経営協定」の締結を推進します。	○R5. 7. 12令和5年度男女に輝くネットワーク利根沼田会議総会6名、R5. 10. 11令和5年度「女性の新任委員初任者研修会」4名、R5. 12. 13令和5年度関東ブロック女性農業委員等研修会4名、R6. 1. 10令和5年度ぐんま農村男女に輝くフェスティバル3名、R6. 2. 19令和5年度女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員研修会3名、R6. 2. 21利根沼田農業・農村男女共同参画推進講演会3名参加。 ○全戸配付した沼田市農業通信「農縁だより」第3号及び第5号に家族経営協定について掲載し、周知。 ○利用権設定更新予定者に家族経営協定のパンフレット送付。	○女性農業委員・推進委員研修に参加を推進することができた。 ○協定締結者の増加には、引き続き家族経営協定の目的や内容など制度について広く周知する必要がある	近隣の成功例の分析も検討していただき、協定締結数の増加に向け粘り強く推進願いたい。	農業委員会事務局
36	生活研究グループなどの活動支援	女性が活動しやすい環境づくりのため、生活研究グループなどの活動支援を行います。	役員会議 視察研修 手芸講習会 沼須ねぎ普及促進活動（調理実習） 農業まつり参加	会員の退会者があったが新規加入者はなく、会員数の先細りが懸念される。	具体的なニーズや課題を検討し事業推進していただきたい。	農林課

－ 今後の取組 ③ 男女共同参画の視点に立った防災対策の推進 (P50)

No.	事業名	事業内容	実績	課題等	推進委員会の意見	担当課
37	男女が参画する防災対策の推進	防災会議において女性委員を委嘱し、女性をはじめとする多様な意見が反映されるよう努めるとともに、地域団体等との協働による防災対策の向上に努めます。	防災計画の大きな改正がないため、令和5年度会議開催なし	これからの地域防災を計画するに際し、避難所運営での女性目線の意見や、違った視点からの防災のありかたの提案など、地域防災力向上のため、女性委員からご意見を伺うことはとても重要であると考えており、今後も条例の定める範囲において積極的に任命を検討したい。	積極的に推進されていると察するが、今後も継続願いたい。	地域安全課